

# 平和の波を！

**憲法9条を守ろう!! 国会前に1万8000人!  
全国統一3000万署名にご協力ください。**



市民の代表が次々にスピーチし、「こんなときに憲法9条を壊すなんて愚かなことはありません。今こそ、憲法9条を生かした平和外交が必要です。」「子どもが大き

4野党の代表も参加し、集まった  
1万8000人（主催者発表）が  
「改憲発議ぜつたい止めよう」と

11月3日、9条改憲に反対する行動が全国各地で行われました。香教組は、国会前集会に参加しました。

発行所  
高松市田村町1033-3  
TEL (087) 867-4797  
FAX (087) 867-6446  
kakyoso@kakyoso.com  
香川県教職員組合  
定価 1部50円 1月100円  
組合員の購読料は組合費に含む

<http://kakyoso.com/>

たとき、  
日本が戦争  
10:00~  
第316回  
中央委員会  
香教組会館  
2階会議室

原発から7年8ヶ月  
憲法9条を絶対守りたい。」等の  
話がありました。

# 原発から7年8ヶ月 被災地を見る・歩く・考える

学习会

同日の夕方より福島県に移動し、夕方学習会「被災地の学校の状況や子どもたちの今の様子について」を聞きました。

事故は収束してしまったかのようになつていています。しかし現状はどういふと問題は山積みです。原発本体は廃炉にすると東電は言つていますが、いまだ見通しは立ちません。震災関連死や中間貯蔵施設への除染廃棄物の運び込み、農林水産業の再開、各町村の住民の帰還賠償金打ち切り、風評被害、子どもたちの健康被害、挙げればきりがないほどの問題が未解決です。

被災地の学校の現状は、双葉郡飯館村のすべての学校、南相馬市の小高区、原地区の小中学校、田村市、川俣町の一部の小中学校が避難又は休校を余儀なくされましたが、7年経つた今、徐々に再開されています。しかし、双葉郡内の学校は震災前、小中合わせて28校ありましたが22校の再開に留ま

子どもたちの現状は、避難生活を余儀なくされた子どもたちは、様々な問題を抱えながらの生活が続いていることが報告され、賠償金がほとんどの地域で打ち切られたり、震災直後に生まれた子どもたちが小学校の低学年になり、学校生活の中で落ち着きがなかつたり、友だちや教員に對して乱暴な行動を取つたりすることが多いと、いう報告を受けました。

震災と原発事故の記憶を風化させないこと、原発事故から受けける福島県の人々の人権について考えさせられました。

NO MORE  
福島

# すべての子どもたちにゆきとどいた教育を

## 「小さな学校」「小さなクラス」の方が教育効果が高い

WHO（世界保健機関）は、世界各地から「学校規模と教育効果」について研究した論文を集めて多面的に分析し、その結果をまとめとして発表しています。

結論は、「学校規模は小さい方がよい」「生徒100人を上回らない規模」

この基準は1学年あたりでは、

小学校の場合6学年ですから、

1学年あたり15人以下

中学校の場合3学年ですから、

1学年あたり33人以下

ということになります。

全国的に進んでいる学校統合

や40人学級のままでは、学力はあ

りません。日本の常識は世界の

非常識です。学力向上のためにも、

学校統合を中止し、少人数授業

の実現が必要です。

HP「学校統合教員減らしはやめて

日本一に」と題して、

HP「学校統合教員減らしはやめて